

令和 3 年 度

建 第 47 号

市道田川稻葉下屋敷線道路維持修繕工事

工事実施設計書

小 矢 部 市

設 計 書

小矢部市 田川 地内

市道田川稲葉下屋敷線道路維持修繕工事

設計額 ￥ . 一

第 4 7 号	工事 大要	道路土工	掘削	139	m3
			埋戻し	23	m3
		構造物撤去工		13	m3
		ブロック積擁壁工	L=	15	m

特記仕様書

工事名：市道田川稲葉下屋敷線道路維持修繕工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和2年10月」によるものとし、第1編共通編1-1-2第6項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。

- ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
- ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の向上政策を含む工事であって工場製作のみが行われる期間

2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の確認

下記の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

確認対象材料 L型側溝

第4条 コンクリート配合

使用目的の配合諸元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの種 類	使用目的
1	18	8	25	60以下	-	B・B	基礎コンクリート 胴込コンクリート 裏込コンクリート 天端コンクリート

第5条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は、第5条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第6条 路盤工

受注者は、路盤材の敷均しにあたり、材料分離に注意し、一層の仕上り厚が指定値を越えないように締め固めなければならない。

第7条 建設発生土

本工事で発生する建設発生土にあたっては、埋戻しに流用するものとし、埋戻しに使用しないものについては残土仮置き場へ搬入すること。残土の処分地は以下のとおりとする。なお、これによらない場合は監督員と協議するものとするが、やむを得ない場合を除き、処分地変更の場合は設計変更の対象としない。

種別	処分地
残土	安楽寺

第8条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を利用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定人室基準（案）」に基づくものとする。

工種	品種	使用箇所
ブロック積工	RC40	基礎砕石

第9条 建設リサイクル法の対象工事

- 1 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員に説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・建築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等における建築資材量の見込み
- 3 本工事における特定建設資材（コンクリート、鉄及びコンクリートからなる建設資材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等・再資源化については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は監督員と協議するものとする

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	その他 (既設構造物撤去)	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	12.2m ³
アスファルト塊	m ³
建設発生木材	m ³

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を特定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。ただし、施設の受け入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。

4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）平成 14 年 6 月」に定めた様式 1「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」に兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書に提示するものとする。

第10条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第11条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策に努める。

第12条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

第13条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

第14条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

第15条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

第16条 起工測量について

本工事实施にあたり、起工測量を行い設計図書の精査し、施工計画書に反映させること。

第17条 舗装版切断排水の処分について

舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じりあった排水については産業廃棄物の汚泥として取り扱うこと。処理に必要な経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。

第18条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

当初より、消費税率を10%として契約する。なお、業務の引渡し日が10月1日前となった場合、もしくは消費税の引き上げが延期となった場合は、減額に係る変更契約を取り交わすものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 建設課 実施設計書 当初 0 1 実施単価 07 砺波地区 0-03.07.15(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 40 05 道路改良 01 割増なし 02 臨時低圧電力 01 補正なし 00 通常 03 補正なし 00 計上しない 00 計上しない 10	前 世 代	

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
道路改良						Y1601
道路土工						Y260201
作業土工						Y31010601
掘削						Y4101010104
掘削 土砂 片切掘削		139	m3	式		SP2001 0 A=1, B=2 施工 第0-0001号表
埋戻し				式		Y4101030102
埋戻し 施工方法 最大埋戻幅1m以上4m未満		23	m3			SP2014 0 A=3 施工 第0-0002号表
残土処理工						Y36020105

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬						Y4602010503
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	116		m3			SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=7 施工 第0-0003号表
処分費等						#0044
公共用残土仮置場 (搬入)	116		m3			TST01 0
石・ブロック積(張)工						Y260107
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)						Y36010702
コンクリートブロック基礎						Y4601070201
基面整正	11		m2			SP2012 0 施工 第0-0004号表
基礎砕石 砕石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下	11		m2			SP2030 0 A=2, B=3 施工 第0-0005号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	2		m3			SP2082 0 A=1, B=4, C=1, E=2, G=2, L=1 施工 第0-0006号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6		m2			SP2084 0 A=1, B=1 施工 第0-0007号表
天端コンクリート	1		m3			SP2046 0 A=1, B=1, C=1 施工 第0-0008号表
目地板 瀝青質 t = 10	2		m2			SP2076 0 A=1 施工 第0-0009号表
コンクリートブロック積			式			Y4601070202
裏込砕石	10		m3			SP2031 0 A=2 施工 第0-0010号表
裏込コンクリート	5		m3			SP2040 0 A=1, B=1, D=1 施工 第0-0011号表
コンクリートブロック積工 (材料費を含む) 裏込コンクリートを施工する	51		m2			SS086 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=0.33, G=3, L=1 施工 第0-0012号表
胴込コンクリート	10		m3			SP2040 0 A=1, B=1, D=1 施工 第0-0013号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
硬質塩化ビニール管 VP 50mm JIS K 6741	8		m						T1631	0
構造物撤去工									Y210110	
道路付属物撤去工									Y31011005	
コンクリート構造物取壊し									Y4101100201	
構造物とりこわし工（機械） 無筋構造物	12		m3	式					SS090	0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 施工 第0-0014号表
殻運搬 コンクリート（無筋・鉄筋）構造物とりこわし 機械積込	12		m3						SP2081	0 A=1, B=1, C=1, D=6 施工 第0-0015号表
処分費等									#0044	
コンクリート廃材処理費	12		m3						TCM39	0
コンクリート廃材処理費	0.7		m3						TCN39	0

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
共通仮設費 (率分)			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
現場管理費計						
工事原価						
一般管理費等			式			
工事価格						

本工事費内訳表

消費税等相当額	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
			式			
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税等相当額計			式			
請負対象工事費計						

施工内訳表

SP2001

施工 第0-0001号表

[名称] 掘削 [規格1] 土砂		[規格2] 片切掘削		1	m3	当り
機械構成比: 11.50%		労務構成比: 83.09%		材料構成比: 5.41%		市場単価構成比: 0.00%
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		標準単価: 1,120.8
バックホウ		11.50%		バックホウ		備考
普通作業員		73.43%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊運転手		9.66%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)		5.41%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価				積算単価		EP001
A=1	土砂			B=2	片切掘削	

施工内訳表

SP2014

施工 第0-0002号表

[名称] 埋戻し		[規格1] 施工方法 最大埋戻幅1m以上4m未満		[規格2]		1	m3	当り
機械構成比: 12.68%		労務構成比: 82.43%		材料構成比: 4.89%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,770.2
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	バックホウ	10.86%			バックホウ		MHH111	
	振動ローラ賃料	1.71%			振動ローラ(舗装用) 東京単価 [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		T7281	
	タンパ賃料	0.11%			タンパ及びランマ 東京単価 質量60~80kg		T7285	
	普通作業員	51.28%			普通作業員 東京単価		R2006	
	特殊作業員	22.55%			特殊作業員 東京単価		R2005	
	特殊運転手	8.60%			運転手(特殊) 東京単価		R2002	
	軽油 (パトロール)	4.78%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002	
	ガソリン JIS2号レギュラ	0.11%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=3	最大埋戻幅1m以上4m未満							

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0003号表

[名称] 土砂等運搬		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り			
[規格1] 標準		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)							
機械構成比:	47.71%	労務構成比:	37.09%	材料構成比:	15.20%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,274.6
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考				
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450				
一般運転手	37.09%		運転手(一般) 東京単価		R2015				
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002				
積算単価			積算単価		EP001				
A=1 標準			B=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)					
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し					
I=7 6.0km以下									

施工内訳表

SP2012

施工 第0-0004号表

[名称] 基面整正		[規格1]		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 100.00%		材料構成比: 0.00%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 422
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
普通作業員	100.00%		普通作業員 東京単価		R2006			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

SP2030

施工 第0-0005号表

[名称] 基礎碎石		[規格1] 碎石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下		[規格2]					
機械構成比: 6.19%		労務構成比: 75.44%		材料構成比: 18.37%					
				市場単価構成比: 0.00%					
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	標準単価: 1,088.7	1	m2	当り
バックホウ賃料		6.15%		バックホウ(クローラ型) 東京単価 山積0.8m3(平積0.6m3)					T7279
その他(機械)				その他(機械)					EK009
普通作業員		36.30%		普通作業員 東京単価					R2006
特殊作業員		15.78%		特殊作業員 東京単価					R2005
特殊運転手		14.10%		運転手(特殊) 東京単価					R2002
土木一般世話役 一般施工		8.74%		土木一般世話役 東京単価					R2008
その他(労務)				その他(労務)					ER009
再生碎石 RC-40		13.22%		再生クラッシュラン 東京単価 RC-40					T4090
軽油 (パトロール)		5.12%		軽油 東京単価 1.2号パトロール給油					T3002
その他(材料)				その他(材料)					EZ009
積算単価				積算単価					EP001

施工内訳表

SP2030

施工 第0-0005号表

[名称] 基礎碎石			1 m2 当り				
[規格1] 碎石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下			[規格2]				
機械構成比: 6.19%		労務構成比: 75.44%		材料構成比: 18.37%			
				市場単価構成比: 0.00%			
				標準単価: 1,088.7			
代表機	材規格	構成比	単 価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=2	7.5cmを超え12.5cm以下			B=3	再生碎石 RC-40		

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0006号表

[名称] コンクリート				1	m3	当り
[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 人力打設				
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 31.87%		材料構成比: 68.13%		市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:		22,622
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)
備考						
普通作業員	15.01%		普通作業員 東京単価			R2006
特殊作業員	8.45%		特殊作業員 東京単価			R2005
土木一般世話役 一般施工	6.19%		土木一般世話役 東京単価			R2008
その他(労務)			その他(労務)			ER009
生コンクリート 高炉18-8-25 W/C≤65%	68.13%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			T4026
積算単価			積算単価			EP001
A=1 無筋・鉄筋構造物			B=4 人力打設			
C=1 高炉18-8-25 W/C≤65%			E=2 一般養生			
G=2 現場内小運搬 無し			L=1 生コン小型車割増なし			

施工内訳表

SP2084

施工 第0-0007号表

[名称] 型枠		[規格1] 一般型枠		[規格2] 鉄筋・無筋構造物		1	m2	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 100.00%		材料構成比: 0.00%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 8,496.2
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型枠工			47.51%		型わく工 東京単価			R2030
普通作業員			24.83%		普通作業員 東京単価			R2006
土木一般世話役 一般施工			8.97%		土木一般世話役 東京単価			R2008
その他(労務)					その他(労務)			ER009
積算単価					積算単価			EP001
A=1	一般型枠				B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工内訳表

SP2046

施工 第0-0008号表

[名 称] 天端コンクリート		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 3.19%		労務構成比: 66.20%		材料構成比: 30.61%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 50,202
代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
バックホウ賃料	3.19%		バックホウ(クローラ型) 東京単価 [クレーン機能付] 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t		T7276			
型枠工	21.54%		型わく工 東京単価		R2030			
普通作業員	15.71%		普通作業員 東京単価		R2006			
土木一般世話役 一般施工	11.76%		土木一般世話役 東京単価		R2008			
特殊作業員	6.26%		特殊作業員 東京単価		R2005			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
生コンクリート 高炉18-8-25 W/C≤60%	29.13%		生コンクリート 東京単価 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TC003			
軽油 (パトロール)	1.48%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 C=1	18-8-25高炉 W/C≤60% 生コン小型車割増なし		B=1 一般養生					

施工内訳表

SP2076

施工 第0-0009号表

[名称] 目地板 [規格1] 瀝青質 t=10		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 38.22%		材料構成比: 61.78%		市場単価構成比: 0.00%
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		標準単価: 1,922.1
普通作業員		31.83%		普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工		6.39%		土木一般世話役 東京単価		R2008
目地板 瀝青質 t=10mm		61.78%		瀝青纖維質目地板 東京単価 厚さ10mm		T5265
積算単価				積算単価		EP001
A=1 瀝青質 t=10						

施工内訳表

SP2031

施工 第0-0010号表

[名 称] 裏込碎石		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 4.81%		労務構成比: 65.50%		材料構成比: 29.69%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 5,743.4
代表機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
バックホウ賃料	4.79%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		T7279			
その他(機械)			その他(機械)		EK009			
普通作業員	31.93%		普通作業員 東京単価		R2006			
特殊作業員	14.41%		特殊作業員 東京単価		R2005			
特殊運転手	10.89%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002			
土木一般世話役 一般施工	7.88%		土木一般世話役 東京単価		R2008			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
再生碎石 RC-40	25.07%		再生クラッシュラン 東京単価 RC-40		T4090			
軽油 (パトロール)	4.60%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002			
その他(材料)			その他(材料)		EZ009			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

SP2031

施工 第0-0010号表

[名称] 裏込碎石 [規格1]		[規格2]		1	m3	当り
機械構成比： 4.81%		労務構成比： 65.50%		材料構成比： 29.69%		市場単価構成比： 0.00%
標準単価		標準単価		標準単価		5,743.4
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
A=2 再生碎石 RC-40						

施工内訳表

SP2040

施工 第0-0011号表

[名 称] 裏込コンクリート		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 4.16%		労務構成比: 34.53%		材料構成比: 61.31%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 25,734
代表機 労 材 規 格		構成比	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
バックホウ賃料		4.16%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 [クレーン機能付] 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t			T7276	
普通作業員		19.67%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊作業員		10.34%		特殊作業員 東京単価			R2005	
特殊運転手		3.92%		運転手 (特殊) 東京単価			R2002	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉18- 8-25 W/C≤60%		60.08%		生コンクリート 東京単価 高炉 18-8-25(20) W/C 60%			TC003	
軽油 (パトロール)		1.23%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 D=1	間知ブロック・緑化ブロック 生コン小型車割増なし			B=1 18-8-25高炉 W/C≤60%				

施工内訳表

[名称] コンクリートブロック積工 (材料費を含む)		[規格1] 裏込コンクリートを施工する		[規格2]		1	m2	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
コンクリートブロック積工(ブロック費用除く) 時間的制約無し 昼間	1.00	m2			TL575			
積ブロック(富山県リサイクル認定製品) 控35cm 350kg/m2以上	1.00	m2			T4201			
生コンクリート 高炉18-8-25 W/C≤60%	0.37	m3			TC003 胴込・裏込コンクリート			
材料単価差	1.00	m2						
単位当り	1	m2						
A=1 JIS滑面 150kg/個未満 控35cm C=1 標準(昼間) E=1 裏込コンクリートを施工する G=3 18-8-25高炉 W/C≤60%			B=1 時間的制約無し D=1 練積 F=0.33 胴込・裏込コンクリート設計量(m3/m2) L=1 生コン小型車割増なし					

施工内訳表

SP2040

施工 第0-0013号表

[名 称] 胴込コンクリート		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 4.16%		労務構成比: 34.53%		材料構成比: 61.31%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 25,734
代表機 労 材 規 格		構成比	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
バックホウ賃料		4.16%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 [クレーン機能付] 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t			T7276	
普通作業員		19.67%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊作業員		10.34%		特殊作業員 東京単価			R2005	
特殊運転手		3.92%		運転手 (特殊) 東京単価			R2002	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉18- 8-25 W/C≤60%		60.08%		生コンクリート 東京単価 高炉 18-8-25(20) W/C 60%			TC003	
軽油 (パトロール)		1.23%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 D=1	間知ブロック・緑化ブロック 生コン小型車割増なし			B=1 18-8-25高炉 W/C≤60%				

施 工 内 訳 表

[名称] 構造物とりこわし工 (機械)					1	m3	当り
[規格1] 無筋構造物		[規格2]					
名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備	考	
構造物とりこわし工 (無筋構造物) 機械施工 時間的制約無 昼間	1.00	m3			TL782		
※※単位当り※※	1	m3					
A=1 無筋構造物 C=1 時間的制約無し E=1 対策不要			B=1 機械施工 D=1 標準 (昼間)				

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0015号表

[名称] 穀運搬		[規格1] コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし		[規格2] 機械積込		1	m3	当り
機械構成比: 47.71%		労務構成比: 37.09%		材料構成比: 15.20%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 897.52
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック		47.71%		ダンプトラック			M1450	
一般運転手		37.09%		運転手(一般) 東京単価			R2015	
軽油 (パトロール)		15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 C=1	コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間 無し			B=1 D=6	機械積込 3.0km以下			

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	T1631	167		8	硬質塩化ビニール管	塩ビ管、ポリ管
2	T4201	100		51	積ブロック(富山県リサイクル認定製品)	積張ブロック
3	TC003	92		18.87	生コンクリート	生コン 180kg
4	TCM39	189		12	コンクリート廃材処理費	投棄料
5	TCN39	189		0.7	コンクリート廃材処理費	投棄料
6	TL575	200		51	コンクリートブロック積工(ブロック費用除く)	
7	TL782	200		12	構造物とりこわし工(無筋構造物)	
8	TST01	189		116	公共用残土仮置場(搬入)	投棄料

材料数量計算書 総括数量

路線 (レベル1)		工事区分		規格	算 式	数量	単位	備考
工種 (レベル2)								
種別 (レベル3)								
細別 (レベル4)								
規格 (レベル5)								
I 道路改良						1.0	式	
II 土工						1.0	式	
III 掘削工						1.0	式	
IV 片切掘削						1.0	式	
バックホウ掘削		土砂・軟岩(I)		法面土砂撤去追加 8.8*8=70.4		139	m3	
III 作業土工						1.0	式	
IV 埋戻		流用土 埋戻D				23	m3	
III 残土処理					139-23=116	116	m3	
II 道路付属施設工						1.0	式	
III ブロック積 H=1~3m						1.0	式	
IV コンクリート工				15.19 m		1.0	式	
基面整正				7.20/10.00*15.19		10.94	m2	
基礎砕石		RC-40 t=10cm		7.20/10.00*15.19		10.94	m2	
基礎コンクリート		18-8-25		1.02/10.00*15.19		1.55	m3	
型枠				3.70/10.00*15.19		5.62	m2	
天端コンクリート		18-8-25		0.70/10.00*15.19		1.06	m3	
目地材		エラストイト t=10m/m		1.08/10.00*15.19		1.64	m2	
IV ブロック積工				51.05 m2		1.0	式	
裏込砕石		RC-40		2.00/10.00*51.05		10.21	m3	
裏込コンクリート		18-8-25		1.00/10.00*51.05		5.11	m3	
ブロック積				$((4.28+4.00)*3.00+(11.19+12.13)*3.00)/2$ $*1.077$		51.05	m2	
胴込コンクリート		18-8-25		1.94/10.00*51.05		9.90	m3	
水抜きパイプ		VPφ50 L=0.50m		3/10.00*51.05		15	ヶ所	
II 構造物撤去工						1.0	式	
無筋構造物取壊し						11.52	m3	
ダンプトラック運搬				同上		11.52	m3	
コンクリート処分		無筋		同上		11.52	m3	
2次製品取壊し						0.65	m3	
ダンプトラック運搬				同上		0.65	m3	
コンクリート処分		2次製品		同上		0.65	m3	

土 量 計 算

バックホウ掘削 片切

	測 点	単 距 離 (L 1)	曲線半径 (R)	センターより横断 面重心までの距離	重心位置 正 (+) 負 (-)	左の二測点の 平均 (d)	距離の修正率 (R + d) / R	修正距離 (L 2)	断面積 m ²	平均断面積 (S)	総立積 L × S	備 考
No. 0	No. 0	0.00										
BC. 1	No. 0 + 10.52	10.52	11.00	1.29	-	-0.65	0.94	9.89		0.00	0.00	
	No. 1	9.48	11.00	0.75	-	-1.02	0.91	8.63		0.00	0.00	
SP. 1	No. 1 + 7.71	7.71	11.00	5.47	-	-3.11	0.72	5.55		0.00	0.00	
	No. 1 + 16.30	8.59	11.00	2.07	+	3.77	1.34	11.51	4.20	2.10	24.17	
EC. 1	No. 2 + 4.89	8.59	11.00	3.37	+	2.72	1.25	10.74	4.10	4.15	44.57	
	No. 2 + 15.61	10.72				1.69						
EP.	No. 3 + 3.34	7.73				0.00						
	合 計	63.34									68.74	

注 横断面重心が、センターより曲線の内側にある時は負 (-) になり外側の時は正 (+) とする。

土 量 計 算

埋 戻

	測 点	単 距 離 (L 1)	曲線半径 (R)	センターより横断 面重心までの距離	重心位置 正 (+) 負 (-)	左の二測点の 平均 (d)	距離の修正率 (R + d) / R	修正距離 (L 2)	断面積 m ²	平均断面積 (S)	総立積 L × S	備 考
No. 0	No. 0	0.00										
BC. 1	No. 0 + 10.52	10.52	11.00	2.80	-	-1.40	0.87	9.15		0.00	0.00	
	No. 1	9.48	11.00	0.92	-	-1.86	0.83	7.87		0.00	0.00	
SP. 1	No. 1 + 7.71	7.71	11.00	1.67	-	-1.30	0.88	6.78		0.00	0.00	
	No. 1 + 16.30	8.59	11.00	1.42	-	-1.55	0.86	7.39	1.30	0.65	4.80	
EC. 1	No. 2 + 4.89	8.59	11.00	5.06	+	3.24	1.29	11.08	1.00	1.15	12.74	
	No. 2 + 15.61	10.72				2.53				0.50	5.36	
EP.	No. 3 + 3.34	7.73				0.00				0.00	0.00	
	合 計	63.34									22.90	

注 横断面重心が、センターより曲線の内側にある時は負 (-) になり外側の時は正 (+) とする。

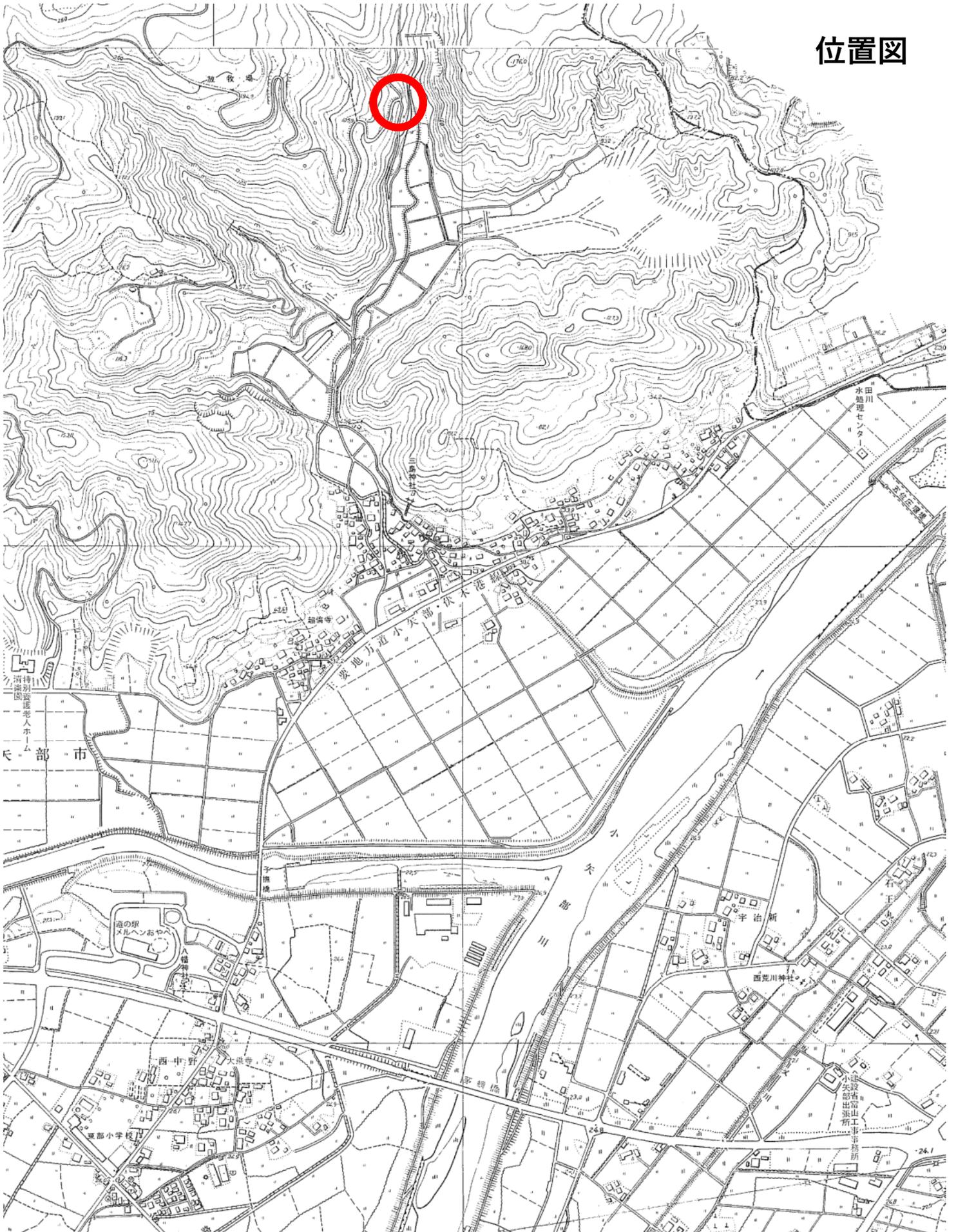
数量計算書

既設構造物撤去工

単位 : m3

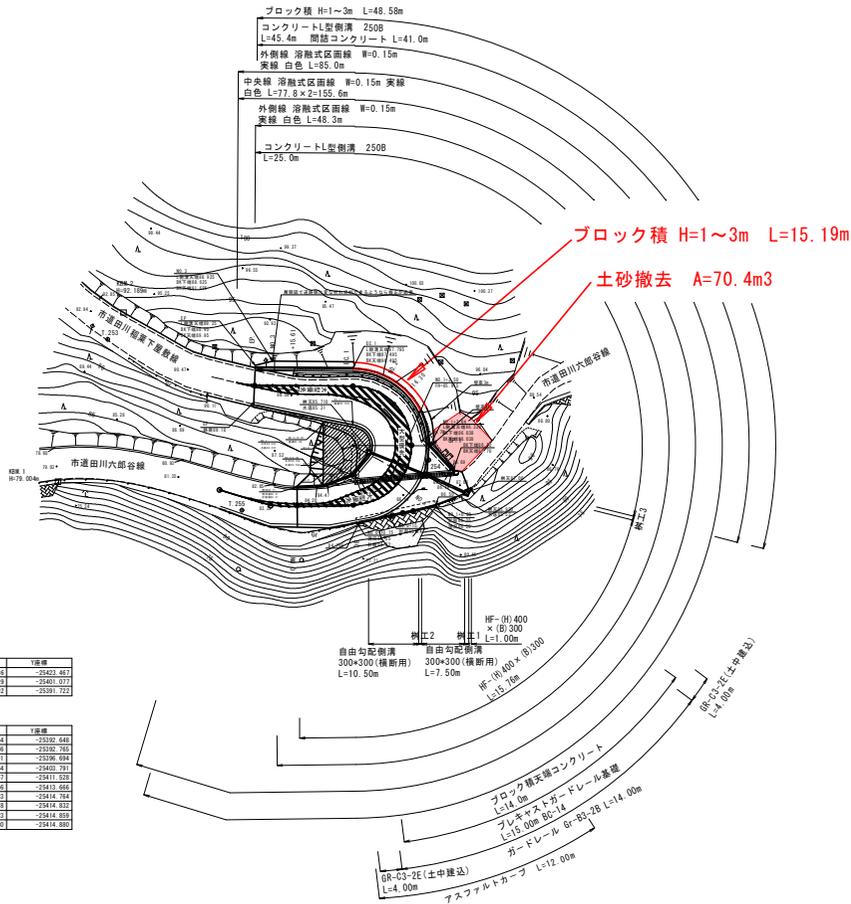
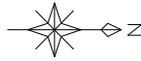
番号	延長(m) 又は 個所数	規 格	算 式	区 分		
				有筋 (V1)	無筋 (V2)	二次製品 (V3)
2	20.00	擁壁	$(0.30+0.66) \times 1.20 / 2 \times 20.00$		11.52	
		L型側溝250B	$0.0816 / 2.5 \times 20.00$			0.65
合計					11.52	0.65

位置図



平面図 縮尺 1:500

縦断面図 縮尺 縦1:100 横1:500



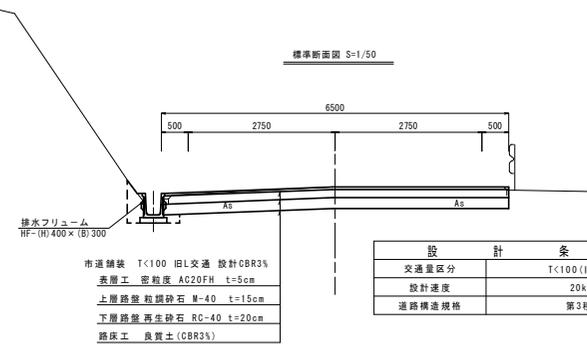
基準点座標一覧表

点名	1座標	2座標
T-253	78180.786	-25423.487
T-254	78192.829	-25461.073
T-255	78215.892	-25391.722

中心線座標一覧表

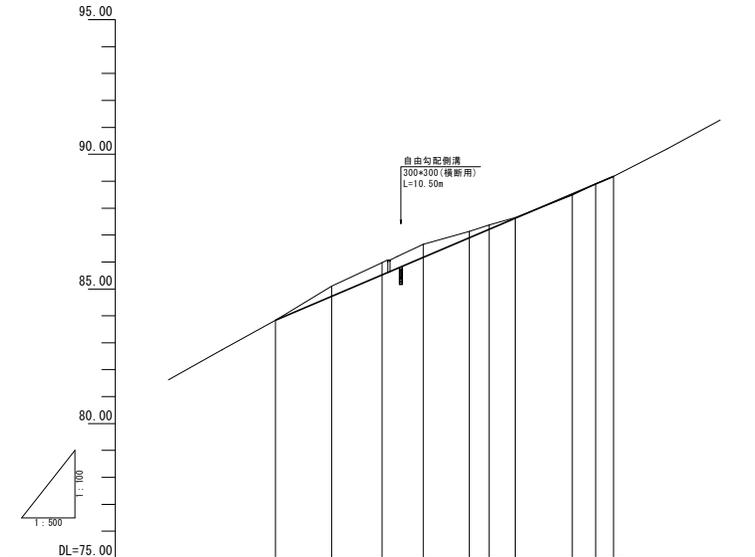
点名	1座標	2座標
NO.0	78226.244	-25322.448
BS.1	78226.768	-25322.505
NO.1	78245.591	-25396.694
EP.1	78247.464	-25403.791
NO.1+10.30	78248.437	-25411.528
NO.2	78241.466	-25413.666
BS.1	78226.752	-25414.764
NO.2+15.61	78228.518	-25414.832
NO.3	78221.822	-25414.819
EP.1	78218.200	-25414.803

標準断面図 S=1/50



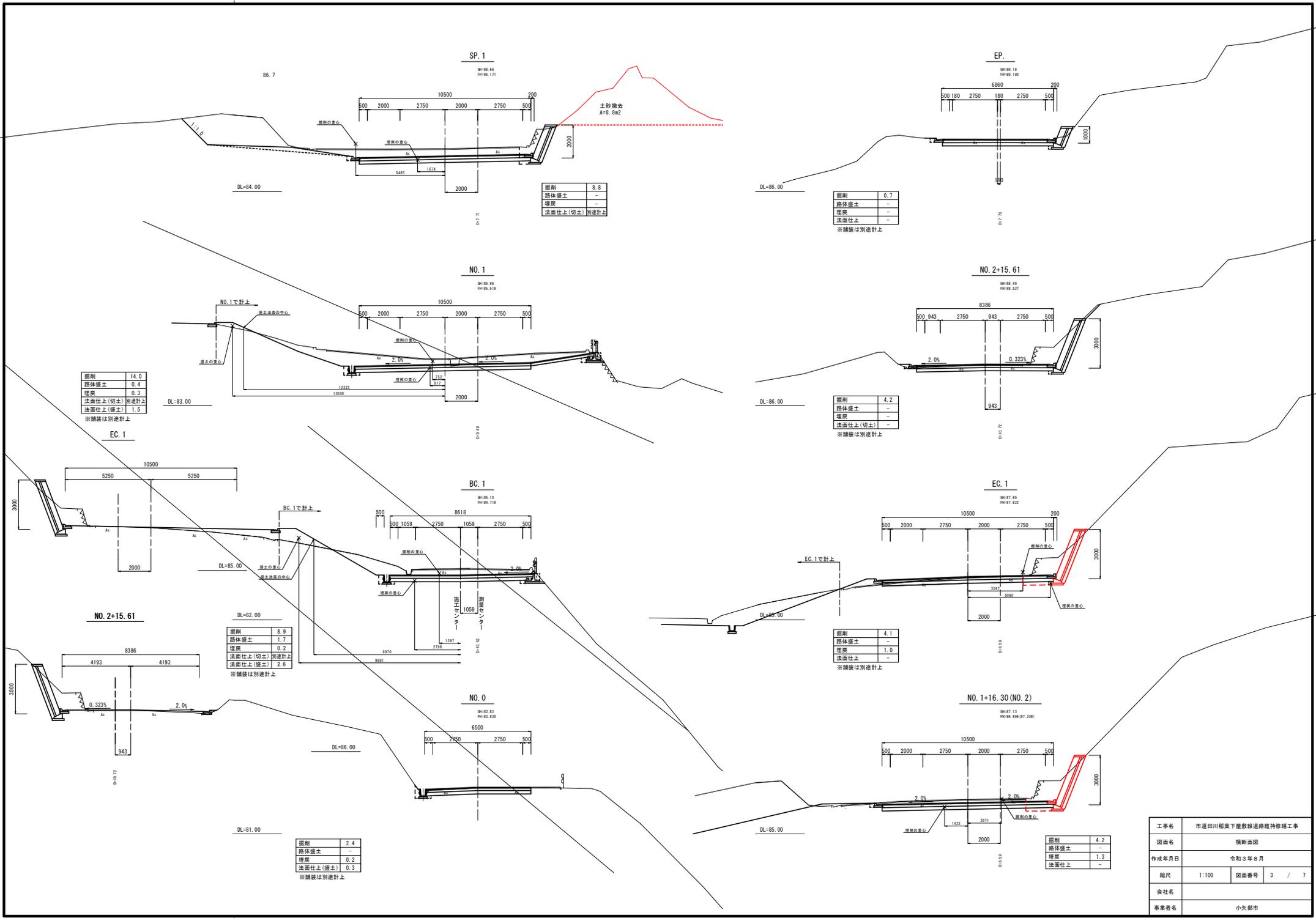
設計条件

交通量区分	T<100(旧L交通)
設計速度	20km/h
道路構造規格	第3種4級



勾配	63.830	68.180
盛土高		0.04
切土高		
計量高	83.830	84.719
地盤高	83.83	85.10
追加距離	0.00	10.52
車距距離	0.00	10.52
標点	NO.0	BS.1
曲線	NO.1 R=11,000 CL=24.266 TS=1290.475 SL=1249.523	NO.2 R=11,000 CL=24.266 TS=1290.475 SL=1249.523
片すり分け	LEVEL 2.5% 3% 2.5%	LEVEL 2.5% 3% 2.5%
掘削		

工事名	市道田川稲葉下懸線道路維持修繕工事		
図面名	平面図・縦断面図		
作成年月日	令和3年8月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 7
会社名			
事業者名	小矢郡市		



掘削	8.8
路体盛土	-
埋戻	-
法面仕上(切土)	別途計上

掘削	0.7
路体盛土	-
埋戻	-
法面仕上	-

※舗装は別途計上

掘削	14.0
路体盛土	0.4
埋戻	0.3
法面仕上(切土)	別途計上
法面仕上(盛土)	1.5

※舗装は別途計上

掘削	4.2
路体盛土	-
埋戻	-
法面仕上(切土)	-

※舗装は別途計上

掘削	8.9
路体盛土	1.7
埋戻	0.2
法面仕上(切土)	別途計上
法面仕上(盛土)	2.6

※舗装は別途計上

掘削	4.1
路体盛土	-
埋戻	1.0
法面仕上	-

※舗装は別途計上

掘削	2.4
路体盛土	-
埋戻	0.2
法面仕上(盛土)	0.3

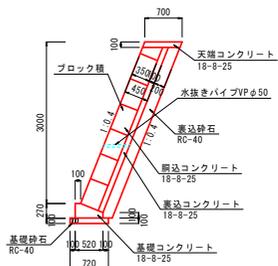
※舗装は別途計上

掘削	4.2
路体盛土	-
埋戻	1.3
法面仕上	-

工事名	市道田川稲葉下懸線道路維持修繕工事		
図面名	横断面図		
作成年月日	令和3年8月		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 7
会社名			
事業者名	小矢郡市		

標準構造図

ブロック積工 S=1:50



※水抜きパイプφ50を3m2/1箇所設ける

名称	規格	計算式	単位	数量
基面整正		0.72×10.00=7.200	m ²	7.20
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.72×10.00=7.200	m ²	7.20
基礎コンクリート	18-8-25	(0.52+0.27+0.45+0.17/2)×10.00=1.022	m ³	1.02
目地材		(0.27+0.10)×10.00=3.700	m ²	3.70

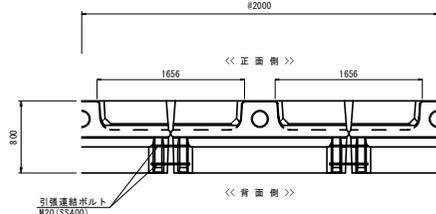
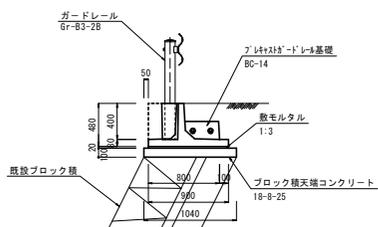
名称	規格	計算式	単位	数量
天端コンクリート	18-8-25	0.70×0.10×10.00=0.700	m ³	0.70
目地材	エラストイト t=10cm	0.10×1.077×10.00=1.077	m ²	1.08

名称	規格	計算式	単位	数量
表込砕石	RC-40	0.20×10.00=2.000	m ³	2.00
表込コンクリート	18-8-25	0.10×10.00=1.000	m ³	1.00
ブロック積	10.00		m ²	10.00
調整コンクリート	18-8-25	(1e2掛り0.194m3) 10.00×0.194=1.94	m ³	1.94
水抜きパイプ	VPφ50 L=0.50m	10.00/3=3.333	箇所	3

プレキャストガードレール基礎工 S=1:30

断面図

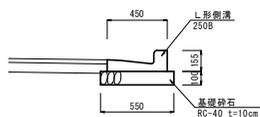
平面図



名称	規格	計算式	単位	数量
プレキャストガードレール基礎	BC-14	10.00/2.00=5.00	5.00本	5.00
膨モルタル	1:3	0.90×0.02×10.00=0.180	0.18m ³	0.18
ブロック積天端コンクリート	18-8-25B8	1.040×0.10×10.00=1.040	1.04m ³	1.04
目地材	エラストイト t=10cm/m	0.10×1.077×10.00=1.077	1.08m ²	1.08

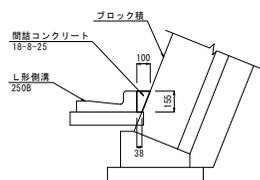
※プレキャストガードレール基礎の構造計算については14m以上連結した場合(BC-14)で計算しているため連結長が14mを満たさない場合は別途構造計算が必要。

L形側溝 S=1:20



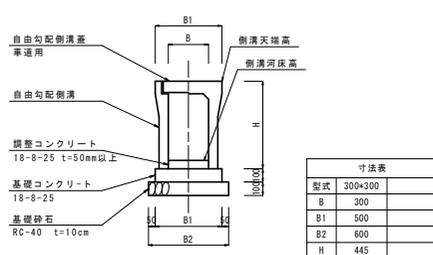
名称	規格	計算式	単位	数量
基面整正		0.55×10.00=5.500	5.50m ²	5.50
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.55×10.00=5.500	5.50m ²	5.50
L形側溝	250B		10.00m	10.00

間詰コンクリート S=1:20



名称	規格	計算式	単位	数量
間詰コンクリート	18-8-25	(0.10+0.038)×0.155/2×10.00×0.107	0.11m ³	0.11

自由勾配側溝 S=1:20

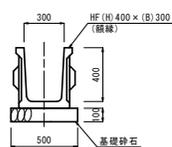


型式	300×300
B	300
B1	500
B2	600
H	445

名称	規格	計算式	単位	300×300	10.00m当り
基面整正		82×10.00=	m ²	6.00	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	82×10.00=	m ²	6.00	
基礎コンクリート	18-8-25	81+0.10×10.00=	m ³	0.50	
型枠		0.10×2×10.00=2.00	m ²	2.00	
調整コンクリート	18-8-25	8+0.053×10.00=	m ³	0.16	
自由勾配側溝	側断面	82.00m	m		
自由勾配側溝	横断面	82.00m	m	10.00	
自由勾配側溝蓋	単道用	80.50m	枚		
グレーチング	T-25	L=1.00m	枚	5.00	

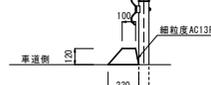
※グレーチングは10.00mに1.0ヶ所設ける
※横断面は全てグレーチングとし、コンクリート蓋は使用しない

HF(H)400×(B)300 S=1:20



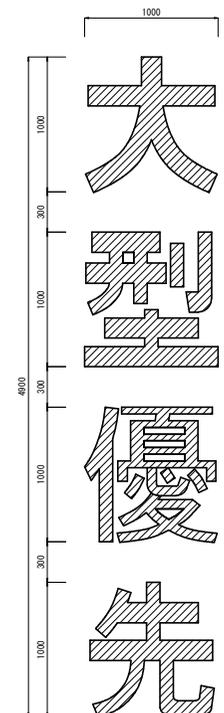
名称	規格	計算式	単位	数量
基面整正		0.50×10.00=5.000	m ²	5.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.50×10.00=5.000	m ²	5.00
HF-(H)400×(B)300	標準 水抜き穴有		m	10.00

アスファルトカーブ S=1:20



※雨水が谷側(ブロック積)湧出ししない場合は設置しなくてもよい

路面標示寸法図 S=1:20



大 = 0.388m² / 0.15 = 2.58m

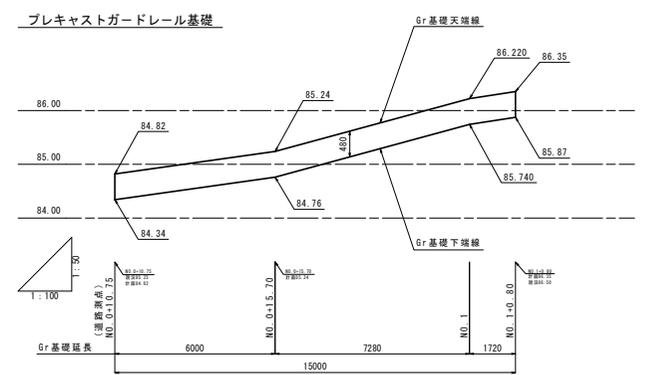
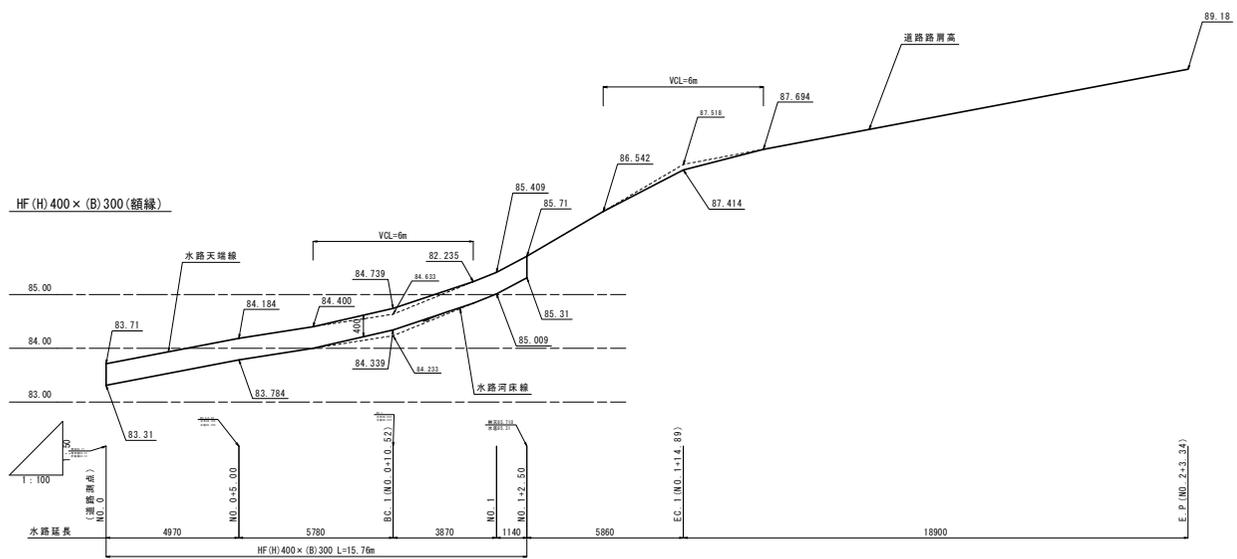
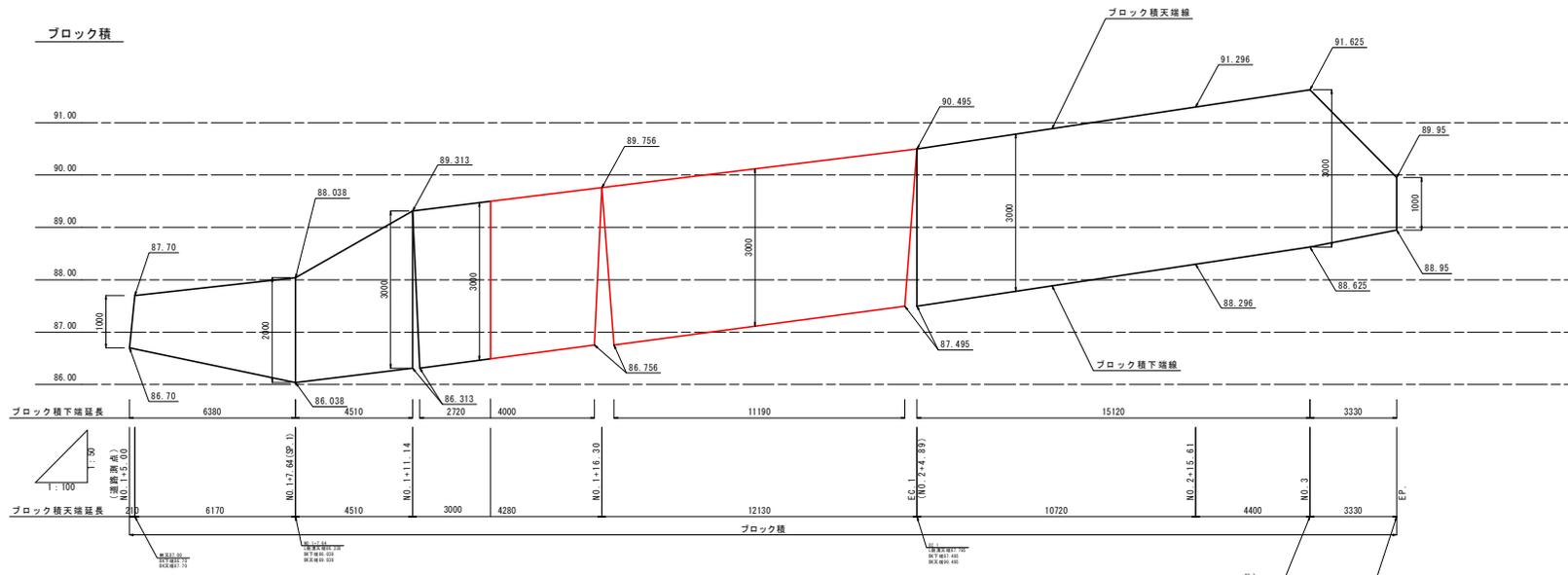
型 = 0.595m² / 0.15 = 3.97m

優 = 0.493m² / 0.15 = 3.29m

先 = 0.419m² / 0.15 = 2.79m

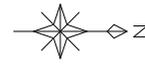
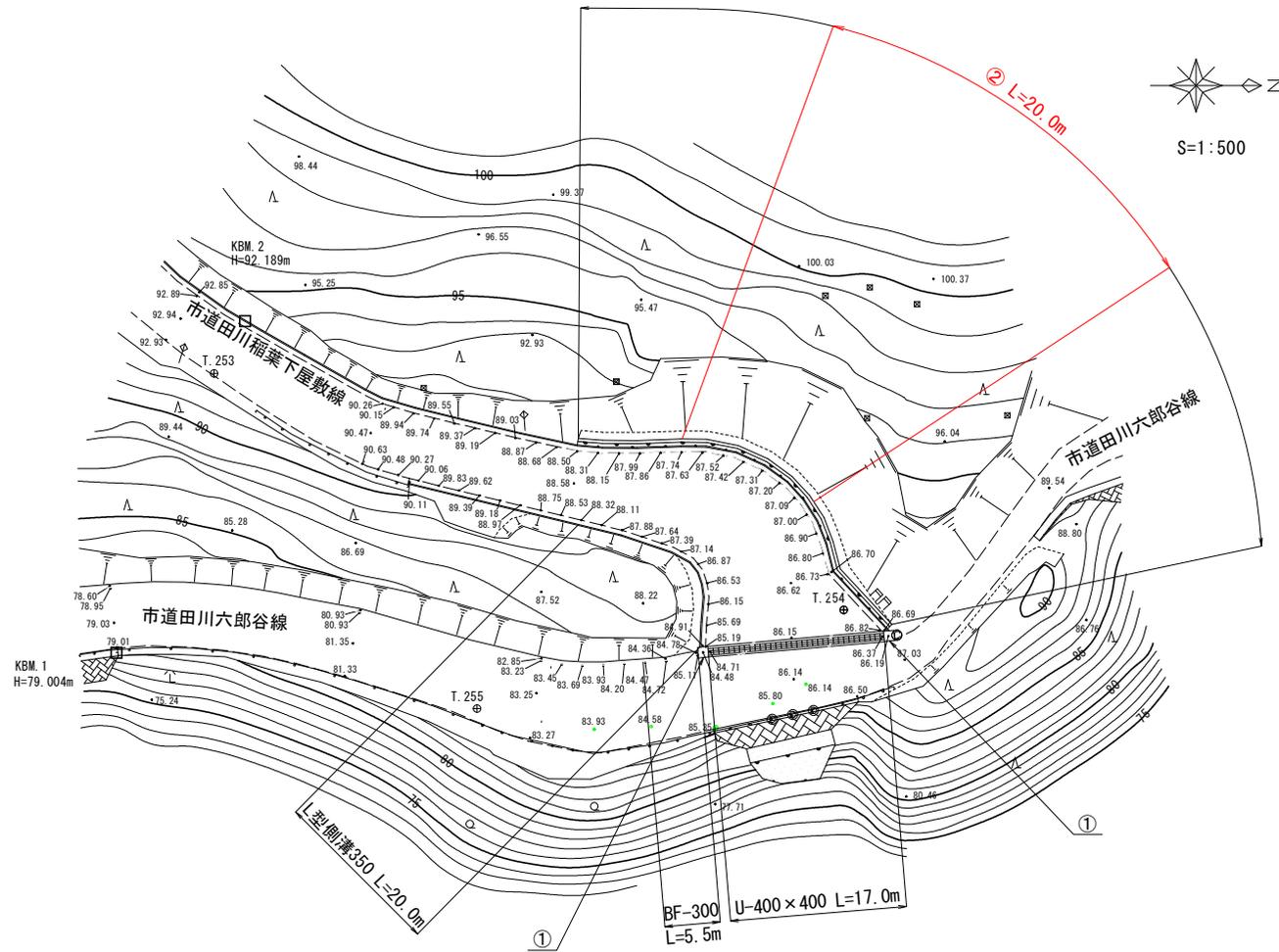
工事名	市道田川稲葉下懸架線道路維持修繕工事		
図面名	標準構造図		
作成年月日	令和3年8月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	小矢郡市		

展開図



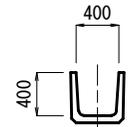
工事名	市道田川稲葉下懸敷線道路維持修繕工事		
図面名	展開図		
作成年月日	令和3年8月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 7
会社名			
事業者名	小矢郡市		

既設構造物撤去工

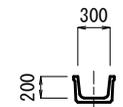


S=1:500

U-400 × 400



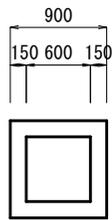
BF-300



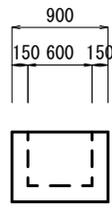
L型側溝350



① 樹

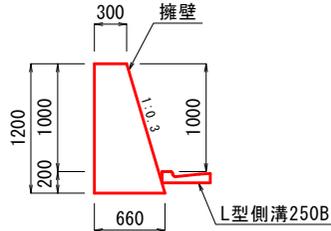


平面図



断面図

② 擁壁, L型側溝250B



既設構造物撤去工

単位 : m³

番号	延長(m) 又は 個所数	規格	算式	区分	
				無筋 (V2)	二次製品 (V3)
	17.00	U-400 × 400	$0.1907/2.5 \times 17.00$		1.30
	5.50	BF-300	$0.0660/2.5 \times 5.50$		0.15
	20.00	L型側溝350	$0.1050/2.5 \times 20.00$		0.84
1	2.0ヶ所	樹	$(0.90 \times 0.90 \times 0.65 - 0.60 \times 0.60 \times 0.50) \times 2.0$	0.69	
2	38.50	擁壁	$(0.30 + 0.66) \times 1.20 / 2 \times 38.50$	22.18	
		L型側溝250B	$0.0816/2.5 \times 38.50$		1.26